

【現代風“組織一丸”マネジメント】シリーズ

大事に育てた従業員に突然辞められた…！

難しい人間関係の基本的な部分を見るための『まねじめんと』

【現代人にありがちな“もろさ”】

自分自身には“とても完成（実行）できない”と感じる課題に追い込まれた時、立ち向かうよりも逃げてしまう“もろさ”を持つ人材が、今、増えているかも知れません。

しかも“逃げる”際、単に会社を辞めるばかりではなく、自分ができないのは“会社のせいだ”として、経営陣を攻撃する従業員も、少ないとは言えないのです。

【なぜそうなったのか？】

しかし、なぜそんな“もろさ”を持つ人材が増えたのでしょうか。そこには、様々な“社会的要因”がありそうです。

たとえば、ネットで“すぐに回答が得られる”環境に育ったり、注目されることや褒められることが日常だったりすると、“厳しい状況”で自分を鼓舞することは、確かに難しくなるからです。

【対処法が見えて来る】

ただ、それを問題だと嘆くばかりではなく、“現代人の多くが持つ弱点の一つ”だと、冷静に受けとめるなら、効果的な対処法も見えて来るケースが増えるかも知れません。

【ある企業では…】

ある企業では、従業員が、業務上“どうすればよいか分からない”状況に長く留まらないよう、きめ細かな指導に努めていると言われます。

ただし、必ずしも“手取り足取り”指導しているわけでもなさそうです。“窮地が苦手”な人材は、具体的な指導もさることながら、『困った時には、いつでも指導してくれる』という安心感だけで、“勇氣”を得たりもするからです。

【大事に育てた従業員に突然辞められた…】

そんな“昨今の従業員事情”を、身をもって痛感された経営者がおられます。特別に育成しようとした従業員に“突然”辞められたのですが、それは腹立たしいことであると同時に、重要な“マネジメントのあり方”への示唆でもあったと指摘されるのです。

【レポートを定期購読しませんか？】

そこで、その経営者の“腹立たしい”体験と、“マネジメント上の気付き”について取りまとめたレポートをご用意しました。

定期購読希（有料）望者にはレポートを毎月お送りしますので、ご遠慮なくご一報ください。



経営陣にとって、大事に育成していた従業員に“辞められる”時ほど、重苦しい気分には陥ることはないかも知れません。それが“ライバル企業”への転職だったりすると、今度は腹立たしくさえなるでしょう。

しかし、なぜ“そんな事態が生じるのか”と冷静に考えてみると、そこには確かに“現代の風潮の素”ばかりではなく、“組織マネジメント”の重要な“方向性”が見えて来るのです。

少数精鋭でビジネスに取り組む皆様、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぶりめんとニュース』にご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所

TEL : 022-292-2351

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>

わたくしたちは、“ヒト”に関する重要課題の提言を通じて、皆様方の経営をご支援申し上げます！